



アシスタントの削除

Unified CM Assistant アシスタントを削除すると、Cisco Unified CallManager は、そのアシスタントの情報をディレクトリにユーザとして保持します。たとえば、アシスタント *thudson* が、*hart* と *dstewart* という 2 人のマネージャに割り当てられているとします。*thudson* と 2 人のマネージャとのアソシエーションを削除するには、アシスタントとしての *thudson* を Cisco Unified CallManager データベースから削除します。削除した後も、ディレクトリには *thudson* がユーザとして残ります。

Cisco Unified CallManager からのアシスタントの削除

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- [クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.30-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.30-3\)](#)

クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

Cisco Unified CallManager ディレクトリ内で、マネージャとのアソシエーションからアシスタントを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [マネージャ / アシスタント] > [IPMA アシスタントの削除] > [クエリー] の順に選択します。[IPMA アシスタントの削除 (Delete IPMA Assistants Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索対象: アシスタント、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

2 番目の [検索対象: アシスタント、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント

データベースに登録されているすべてのアシスタントを検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。



(注)

アシスタントを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、**[絞り込み]** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **[AND]** または **[OR]** を選択して、**ステップ 2 ~ 3** を繰り返します。

ステップ 5 **[検索]** をクリックします。

検索されたアシスタントのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

ステップ 6 **[ジョブ情報 (Job Information)]** 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 **[今すぐ実行]** オプション ボタンをクリックしてアシスタントを即座に削除するか、**[後で実行]** をクリックして後でアシスタントを削除します。

ステップ 8 **[送信]** をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。

ステップ 9 Bulk Administration メイン メニューの **[ジョブスケジューラ]** オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-3 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.30-4 の「関連項目」を参照してください。

カスタム ファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のアシスタントのアソシエーションを検索できます。

始める前に

1. テキスト ファイルを作成し、削除するアシスタントのユーザ ID を 1 行に 1 つずつ指定します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。
詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してアシスタントのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [マネージャ / アシスタント] > [IPMA アシスタントの削除] > [カスタムファイル] の順に選択します。[IPMA アシスタントの削除 (カスタム) (Delete IPMA Assistants Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [削除対象: アシスタント、検索条件] フィールドで、識別子 [ユーザ ID] を選択します。

ステップ 3 2 番目のフィールドである [カスタムファイル] ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。

ステップ 4 [検索] をクリックします。

検索されたアシスタントのリストが表示されます。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてアシスタントを即座に削除するか、[後で実行] をクリックして後でアシスタントを削除します。

ステップ 7 [送信] をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。

ステップ 8 Bulk Administration メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-3 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.30-4 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [Cisco Unified CallManager からのアシスタントの削除 \(P.30-1\)](#)